

鳴門市「道の駅 なんと（仮称）」の設置事業に向けた対話型市場調査実施結果

1. 調査名称

鳴門市「道の駅 なんと（仮称）」の設置事業に向けた対話型市場調査

2. 調査目的

鳴門市では、名実ともに四国の玄関口となるべく「四国のゲートウェイ化構想」の中核プロジェクトとして、一般国道11号沿いに「道の駅」の整備を進めています。

「道の駅」の管理運営手法については、民間のノウハウやアイデアを活用するため指定管理者制度の導入を予定しておりますが、本調査については、民間事業者の参画の可能性や対話を通しての市場性の把握、指定管理者の公募に際しての諸条件の整理等、今後の事業を推進させるための情報収集を目的に実施しました。

なお、今回の調査は、「道の駅」を運営する事業者を選定するために実施したものではありません。

3. 調査対象の基本情報

（1）事業内容

- ① 整備予定地 鳴門市大津町備前島字蟹田の越335-1 他
- ② 敷地面積 約10,900㎡

（2）施設概要

延床面積 約2,000㎡
（建築物の規模の詳細などについては、現在検討中）

（3）国道11号交通量

約40,000台/日

（4）整備方式

指定管理候補者の公募を行い、鳴門市が施設整備を行います。

また、開業時には、指定管理者による管理運営を行うこととし、議会の議決を得た後に、指定管理者となる予定です。

4. 対話の実施概要（アイデア及びノウハウの保護のため、聞き取り調査は個別に実施）

- （1）調査内容 : 道の駅運営に係る意向及び提案
- （2）場所 : 鳴門市役所会議室及びサウンディング先企業会議室など
- （3）対象者 : 民間事業者等 7社（当事業への参加意向を有する法人又はグループ）
- （4）実施経過

平成31年2月20日（水）～3月4日（月）：申し込み期限

平成31年2月20日（水）～3月4日（月）：質問受付期限

平成31年3月5日（火）～3月22日（金）：7社に個別対応

5. 主なヒアリング項目とヒアリング結果

(1) 「道の駅 なると（仮称）」運営管理の参加意欲について

運営管理に対して参加意欲のある民間事業者を確認することができた。

(2) 運営コンセプトやイメージ、導入機能、ゾーニング、配置計画等のアイデアについて

鳴門市の地域資源を活用した運営コンセプトや導入機能等について意見があった。

(3) 大津松茂農協が整備予定の産直施設との連携について

大津松茂農協の産直施設と連携したメニュー開発や特産品開発等の意見があった。

(4) 道の駅の交流人口、集客力の増加につながるアイデアについて

旅行会社との連携など、集客力の増加につながる意見があった。

(5) 道の駅を活用した周辺地域振興施策のアイデアについて

道の駅を基点としたイベント等の意見があった。

(6) 指定管理者を公募する際に、市に望むこと（諸条件の設定等）

短期の指定管理期間で成果を挙げるのは事業者によってはリスクがあるなど、指定管理期間に関する意見があった。

(7) 市が指定管理委託料を算出する際に留意してほしいこと

民間事業者の提案等を踏まえつつ一定の根拠をもったうえで算出されたい、との意見があった。

(8) 基本設計業務を実施する際に、市に望むこと

基本設計業務については、指定管理候補者の意向に対して柔軟に対応してほしい、との意見があった。

(9) 民間事業者が負担できると考えている具体的な維持管理範囲について

指定管理期間等によっては備品・什器等を自ら整備する、との意見を持った民間事業者があった。

(10) 道の駅経営により収益が出た場合の市への具体的還元案について

利益や売り上げの一部還元などのアイデアが提案された。

(11) その他道の駅設置事業に関する提案や意見について

公募条件については、地域活性化策や指定管理料の算定等に関して、できるだけ自由に提案できるように検討してほしい、との意見があった。